



CVCに関する論点

INNOVATIVE VENTURE FUND (IVF) パートナ／東京大学特任研究員

加藤 晴洋

イントロ

- 3つの数字 : 3, 3/10, 3/100
 - 3年 : CVCの“平均寿命”
 - 3/10 : 優秀なVCの投資成功確率
 - 3/100 : 起業の成功確率
- 議論の枠組み
 - Corporate(企業)の立場: 何を求める?
 - startupの立場: Why CVC?
 - Eco System : 位置づけ/役割?

CORPORATEの視点における重要ISSUE(1)

CVC設置の目的明確化

1. (Topのコミットのある)目的設定

: 何のためにCVC設置／運営を行うのか

- 投資対象 : InboundとOutbound
- 目的 :
 - 戦略的リターン
 - 情報収集 : 新技術開発動向、新事業創出動向
 - 案件発掘 : アライアンス相手探索、買収先探索
→ 技術ソーシング、新事業開発、...
 - 人材育成、人材確保
 - ベンチャ・コミュニティの一員
 - 財務的リターン
- (前提として)個別提携案件における出資の意義

CORPORATEの視点における重要ISSUE(2)

Startupに関する基本的性格の理解

2. Startupに関する基本的性格の理解

▪ High Risk, High ReturnとそのImplication

- High Riskの世界 → High Returnを狙う／狙える環境追求
 - 例：大きな市場ポテンシャルのSpaceでの事業展開
- High Riskと言えども、避けられRiskは避ける
 - 例：慎重なDue Diligence
 - 例：信頼できるSourceからの紹介案件
- 適切なKPIや期待値の設定
 - 成果を得られる確率や適切な時間軸の理解
 - 例 イントロの数値、 J - Curve

CORPORATEの視点における重要ISSUE(3)

CVCの構造デザインと運営

3. CVCの構造デザインと運営

- ・ 目的に沿った戦略設定とそれに基づく構造・運営
 - ・ 場所：日本(東京) or 米国(SV) or ?
 - ・ ファンド規模
 - ・ 社内 or 社外(別法人)
 - ・ 投資に関する事業アライアンスの必要性
 - ・ 投資意思決定(投資委員会)とそのメンバ
 - ・ 投資審査基準：技術イノベーション重視 or 事業性
 - ・ 投資先の事業領域
 - ・ 投資ステージ：Seed期 or Early Stage or Middle/Late期
 - ・ 担当人材：外部から採用 or 社内人材 or 社外委託
 - ・ Sourcing